

ジョージア政治・経済 主な出来事

【 2016 年 11 月 14 日 ～ 2016 年 11 月 20 日 】

[当地報道をもとに作成]

平成 28 年 11 月 24 日

在ジョージア大使館

1. 外 政

▼NATO・ジョージア共同訓練(10日ー20日)

・トビリシ近郊のクルツァニシ演習場内にある共同訓練評価センターにて実施された NATO・ジョージア共同訓練について、15 日、露外務省が、「ロシアはこの活動を地域の平和・安定に対する深刻な脅威と見なす」との抗議声明を発表。

・共同訓練では、ジョージア軍将校とともに NATO 加盟国（トルコ、ラトビア、リトアニア、オランダ、ルーマニア、ハンガリー、ブルガリア、ベルギー、スロベニア、英国、米国）およびパートナー諸国（ウクライナ、マケドニア）の 13 か国の将校 250 名が、想定されたシナリオに対応する指揮をシミュレーションした。

・17 日、マルグヴェラシヴィリ大統領は、共同訓練の参加者に対し、「我々は更なる平穏・安定をもたらすため、ジョージアの国防能力の強化を望んでいる。国防能力の強化はいかなる他国に向けられたものでもない」と述べた。

▼第一外務次官が欧州評議会事務局長と会談(16日)

・ザルカリアニ第一外務次官がストラスブールにてヤーグラン欧州評議会事務局長と会談。ジョージアと欧州評議会の協力、国会選挙、被占領地域の人権状況などについて議論。

・「ザ」第一外務次官とバタイニ＝ドラゴニ欧州評議会事務次長は、ジョージアにおける人権の保護、民主化、法の支配の強化を目的とした 2016 年～2019 年の行動計画の進捗について議論。

▼ポーランド軍統合参謀長のジョージア訪問(16日)

・NATO・ジョージア共同訓練に合わせ、ゴツル・ポーランド軍統合参謀長がジョージアを訪問。イゾリア国防相、カパナゼ・ジョージア軍統合参謀長らと会談し、国防分野での二国間協力、ジョージアの NATO 加盟の見通し、NATO・ジョージア協力、ジョージアの国防改革などについて議論した。

▼東方パートナーシップ非公式会合(17日)

・エレヴァンにて第 8 回東方パートナーシップ非公式対話が開催され、ギギアゼ外務次官およびマルサギシヴィリ教育科学次官が出席。2015 年のリガでの EU 首脳会議以降のプログラムの進捗および 2017 年に予定される EU 首脳会議に向けた期待について議論。

▼正教会総主教のモスクワ訪問(18日ー25日)

・イリア 2 世ジョージア正教会総主教がキリル・ロシア正教会総主教の 70 歳の誕生日を祝う式に参加するためモ

スクワを訪問。2008 年の戦争以降ロシア訪問は 5 度目。20 日、他の正教会総主教らと共同礼拝を行なった。

・キリル・ロシア正教会総主教と会談。ジョージア正教会総主教府によれば、「キ」ロシア正教会総主教との会談で「イ」ジョージア正教会総主教は、「露・ジョージア関係の正常化は両国にとって非常に重要である。我々はお互いを必要としている」「ジョージアは東西の平和な協力の場にならねばならない。対立は極めて危険であり、世界的な紛争を引き起こす可能性がある。我々は政治家ではないが、プロセスに影響を与えることはできる」と述べた。また、ツヒンヴァリ教区およびソフミ・アブハジア教区の「問題」を提起し、「両地域に対するジョージア正教会の権限を認めると何度も述べてきたロシア正教会の立場を評価する」と述べた。「キ」ロシア正教会総主教は、「ロシア正教会とジョージア正教会の関係は両国および両国国民にとって非常に重要である」と述べた。

2. 内 政

▼国会選挙の最終結果の発表(16日)

・中央選挙委員会が 10 月の国会選挙の最終結果を発表した。発表された最終結果によれば、有権者の総数は 3,513,884 人。10 の投票所の投票結果が無効とされ、再投票は行なわれなかった。比例代表制の投票に参加したのは 1,825,054 人。足切りライン 5%を越えたのは統一国民運動 (477,053 票)、ジョージア愛国者連合・連合野党 (88,097 票) およびジョージアの夢・民主ジョージア (856,638 票)。

・国会議員に当選したのはジョージアの夢・民主ジョージアから 115 名、統一国民運動から 27 名、愛国者連合・連合野党から 6 名、連合「企業家・我々の祖国」から 1 名、独立候補 1 名。

▼国会召集(18日)

・17 日、マルグヴェラシヴィリ大統領が翌 18 日に国会を召集する大統領令を発表。

・18 日正午に新国会が召集された。冒頭で「マ」大統領が演説。大統領の下に憲法改正案をまとめる作業グループを設置することを提案。与党ジョージアの夢・民主ジョージアが議席の 4 分の 3 以上を占めることについて、権力の過度の集中は危険であると戒めつつ、民主制の発展、司法改革、経済発展に取り組むよう呼びかけた。

・投票により、GDDG が推薦したコバヒゼ GDDG 事務局長が国会議長に就任。同じく投票によりチュゴシヴィリ第一副議長 (GDDG) の他、5 名の副議長 (ヴォルスキ議員 (GDDG)、ジジグリ議員 (GDDG)、ナカシゼ議員

(GDDG)、イナシヴィリ議員(愛国者連合)、カパナゼ議員(統一国民運動)が選出された。15の委員会の委員長も決定された。

・GDDGの2会派、統一国民運動の2会派、愛国者連合1会派の計5つの会派が設置された。

・18日夜、「マ」大統領、「コ」国会議長がクヴィリカシヴィリ首相代行が会談を行なった。大統領府によれば、大統領府、国会、政府の協力の重要性が確認され、今後の協力の展望が検討された。

▼大統領による首相候補者の指名(18日)

・18日夜、マルグヴェラシヴィリ大統領は、国会の最大党「ジョージアの夢・民主ジョージア」の推薦に基づき、国会に対し、クヴィリカシヴィリ現首相代行を首相候補者に指名。

・指名から1週間以内に「ク」首相候補者は閣僚候補者名簿を国会に提出し、その後1週間以内に国会の信任を得ねばならない。

3. 経 済

▼2015年GDP調整値(15日)

・国家統計局が調整済みの2015年のGDPを発表。名目GDPは31,766.6百万ラリ(13,988.1百万ドル)で前年比8.9%増(ドルでは15.3%減)。国民一人当たり8,550.9ラリ(3,766.6ドル)。実質GDP成長率は2.9%。GDPデフレーターは5.9%上昇。

▼2016年10月の工業製品生産者物価指数(15日)

・国家統計局が発表。前月比1.4%上昇、前年同月比1.9%減少。

▼2016年10月の国際送金(15日)

・国立銀行の資料によれば、2016年10月の外国からジョージアへの送金額は102.5百万ドル(241.9百万ラリ)。前年同月比14.0%増。送金元の国別では、金額の大きい順に、ロシア33.8%、米国11.3%、ギリシャ11.0%、イタリア10.0%、トルコ8.5%、イスラエル5.5%、スペイン2.6%、ドイツ2.5%。EU諸国からの送金が31.2%を占める。

・2016年10月のジョージアから外国への送金額は17.8百万ドル(42.0百万ラリ)。前年同月比17.9%増。